

「学習内容の構造図」

小単元名

災害からまちを守るために

学習指導要領の「内容」との関連

○内容（4）地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。

イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

単元の中心概念

消防署とそこに従事している人々は、地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めている。

具体的知識（調べて分かること）

用語・語句

資料

| | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|--|--|
| <p>火事は様々な原因で生じ、消防署を始め、様々な機関が協力して火事を防ぎ取り組みをしている。</p> | <p>通信司令室は、119番の電話を受けると、正確に情報を把握し、さまざまな関係機関に働きかけ、現場に出動させている。</p> | <p>消火活動以外にも、消防車の点検整備、建築許可、立ち入り検査、消防訓練、講習会、救急救助活動、援助活動の仕事をしている。</p> | <p>学校の消防施設には、それぞれ役割があつて計画的な配置がされており、火災発生に備えた消防計画が立てられている。</p> | <p>地いきの人たちが参加する消防団は、消火器や消火栓、防火水そうなどの消防しせつを使い、消防署と協力して、防火や消火の活動をしている。</p> | <p>地域では、火事のほかに起きる災害を予想し、その災害に対する備えをしている。</p> | <p>学校や地域には、地震に備えるための施設や設備があり、災害から身を守る知識や方法を人に伝える取り組みをしている。</p> | <p>地域では、災害が起きたときに、消防署の人々が思うように活動できないときのことを考えて、自分たちができる防災活動をしている。</p> |
| <p>・消防自動車・救急車・消防署・火事発生件数・火事の原因</p> | <p>・消防士・指令室・119番・消防出張所・出動 ・消防団・ガス会社・電力会社・警察署・水道局</p> | <p>・救急救助活動・消火施設・点検・訓練・消火訓練・立ち入り検査・防火服・仮眠室</p> | <p>・消防設備・自動火災報知設備（受信機）・消火栓（発信機）・防火設備・消火器・消防計画・けむり感知器 ・ひなん訓練</p> | <p>・消火と防火・消防施設・消防ポンプ置き場・消火栓・消火器・防火水そう・消火栓のふた（マンホール）と標識・消防団・風水害・消火活動・火の用心</p> | <p>・東海地震・被害・備え・阪神・淡路大震災・東日本大震災・ハザードマップ・防災計画・県防災会館</p> | <p>・土地の高さ・津波・防災倉庫・工事を行った校舎・ひなん地・AED・貯水そう</p> | <p>・防災訓練・消火器・バケツリレー・119番のしくみ・消防せつび・消防計画・消防団・防災計画・地域防災訓練・防災無線</p> |
| <p>P99・P100</p> | <p>P100・P101</p> | <p>P103・P104</p> | <p>なし</p> | <p>P103・P105</p> | <p>なし</p> | <p>なし</p> | <p>P105</p> |

*資料の欄の「資料集」とは「わたしたちの甲府市」を指しています。